

施策評価シート【重点施策】

個別施策 - (1)

基幹産業の競争力を強化する

基本的な方向性

本市の経済をけん引する中核的な産業である製造業の設備投資や小売業等の魅力ある個店づくりを推進し、特色を活かした商店街づくりを支援することで、生産性向上に向けた取組、雇用創出や事業の拡大を促します。また、特に Society5.0 等の動向に応じたイノベーションの創出のため、再生可能エネルギーや IoT、ロボット等の新しい分野への進出を目指す事業者と大学などの研究機関が共同して行う技術開発等を支援するとともに、ビジネスチャンスの創出に向けた取組を進めます。さらに、中心市街地の特色を活かしたまちづくりを支援するとともに、新たな産業拠点の形成を通じて、雇用機会の拡大を図ります。

重要業績評価指標 (KPI) の達成状況

指標名	単位	実績値					5年度 目標値
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度	5年度	
事業拡大や新技術・新商品等の相談・紹介件数【年間】	件	63	39	32	15	20	65
魅力化実施店舗数【累計】	店舗	46	59	65	70	77	82
平塚駅周辺地区（明石町、紅谷町）の空き店舗の減少数【累計】	件	0	3	6	12	15	3

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・市民を正規雇用した市内事業者に対する経費の一部補助や、企業の立地に関する施設整備に対して助成し、市内企業の事業と雇用拡大を促進しました。
- ・各種補助制度により、正規雇用やデジタル化の取組を支援したほか、新たに脱炭素化に向けた専門家派遣の実施など脱炭素支援パッケージを強化し、中小企業における脱炭素化の取組を促進しました。
- ・カーボンニュートラルを目指した波力発電分野での新産業創出事業が地方自治に関する総合実務情報誌に掲載されたほか、企業版ふるさと納税マッチングイベントに参加するとともに、講演要請などに対応し、技術開発や研究開発拠点化の適地であることをPRしました。
- ・事業者のECサイト構築支援や専門知識を有するアドバイザーの派遣などにより、販売力や経営力の強化を図るとともに、地域住民を対象にした匠の店の技や技術の体験教室を、公民館と共催して開催するなど「ひらつか匠の店」の認知度向上を図りました。また、商店街団体や平塚まちなか活性化隊などによる活動を支援するとともに、中心市街地の空き店舗を活用して出店する事業者に対する店舗賃借料や店舗改装費の補助を拡充することで、中心市街地のにぎわい創出や商店街の活性化を促進しました。さらに、文化芸術ホールにおけるにぎわい創出事業の実施や中心市街地への回遊性を高める取組を実施しました。

- ・認定農業者に対して、スマート農業の導入を支援するとともに、新たなライスセンターの開設を支援しました。
- ・新たな産業拠点の形成に向け、ツインシティ大神地区土地区画整理組合に対して支援をすることで、道路や公園の整備など土地区画整理事業の進捗を図るとともに、土地区画整理事業に合わせ公共下水道施設の整備を進めました。
- ・南北都市軸への新しい公共交通導入においては、新たなバス路線（平塚駅北口～ツインシティ大神～本厚木駅南口）が設けられるとともに、既存のバス路線の中にもツインシティ大神バス停で停車する便が新設されました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・社会情勢の変化を捉え、企業の立地に際した支援を促すほか、雇用機会の創出などを通して、労働力を底上げする必要があります。
関係機関と連携を図り、企業の立地に関する制度の周知を進めるとともに、制度利用の実績や利用者の傾向などを踏まえ、適切に支援するほか、企業立地のための用地確保に向けて、取り組みます。また、関係機関と連携し、企業と求職者のマッチング機会を創出します。
- ・社会の急激な変化とともに求められる産業も大きく変化していくことが想定されることから、それに対応できるような新商品や技術開発などを促す必要があります。
市内企業と大学等による共同研究に対して開発段階に応じた支援を行う中で、社会的課題の解決に資する研究に対して、手厚く支援するとともに、技術開発や研究開発拠点化の適地であることをPRします。
- ・地域外の消費者からも選ばれる個店づくりや、大型商業施設の出店などに対応した個店の取組や集客、購買につながる商店街団体の活動を促進するとともに、中心市街地では、増加した空き店舗の解消やにぎわい創出に取り組む必要があります。
アドバイザーの派遣などを通し、個店の専門性を活かした取組や販路拡大を支援し、大型商業施設との差別化や経営力の強化を図ることに加え、商店街団体が行う販売促進事業などに対し、事業費補助などの支援を行うとともに、空き店舗の活用などに係る補助を引き続き行います。また、中心市街地活性化施策の主体である商業者らに対し、人材発掘・育成、まちづくりに関する取組などの支援を行います。さらに、文化芸術ホールにおけるにぎわい創出事業の実施や中心市街地への回遊性を高めるための取組を推進します。
- ・農業経営の安定・拡大を図る必要があります。
スマート農業の導入による農業経営の効率化を図ります。
- ・ツインシティ大神地区における今後のまちづくりの進捗に合わせ、公共交通を利用しやすい環境の整備が必要です。
需要に応じた連節バスの導入等について、バス事業者、道路管理者及び交通管理者と協議します。

関連する【取組】と（事業）

- 【企業の施設整備や新規雇用に対する支援】（企業立地等促進事業）（中小企業金融支援事業）（中小企業経営支援事業）（電気バス導入促進事業）
- 【デジタル技術を活用した企業の生産性向上等に対する支援】（中小企業経営支援事業）
- 【産学公の共同研究による新製品や新技術開発等の事業化の支援】（知的対流推進事業）
- 【商業者の経営強化や商店の魅力化のための支援】（商店等魅力アップ推進事業）

- 【各商店会の特色を活かした集客や交流の場づくりの取組への支援】(商店街にぎわい創出事業)
- 【中心市街地の活性化支援】(商店街にぎわい創出事業)(中心市街地活性化推進事業)(平塚文化芸術ホール管理運営事業)
- 【デジタル技術を活用したスマート農業の導入支援】(担い手総合対策事業)
- 【ツインシティ整備の推進】(ツインシティ整備推進事業)(南北都市軸への新しい公共交通導入事業)(電気バス導入促進事業)(地球温暖化対策推進事業)